

調査の結果から見られる特徴

教科に関する調査

文章や資料から必要な情報を読み取ったことを基に、自分の考えをもったり表現したりすることに課題が見られる。

- ・ 小学校国語の問題において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができるかをみる問題の正答率が42.6%であった。（📖 p31）
- ・ 英語の問題において、まとまりのある英文を読み、読んだことについて、自分の考えとその理由を書くことができるかをみる問題の正答率が21.3%であった。（📖 p47）

観察したことや資料など、複数の情報を結び付けて考えることに課題が見られる。

- ・ 小学校理科の問題において、実験結果をもとに考察し、分かったことを整理することができるかをみる問題の正答率が38.3%であった。（📖 p43）
- ・ 中学校社会の問題において、資料から読み取った情報と知識とを結び付けて農業の分布について判断できるかをみる問題の正答率が39.5%であった。（📖 p37）

質問紙調査

児童生徒主体の学びの実現に課題が見られる。

- ・「◇^{25/23} 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校が 67.4%、中学校が 62.2%である。(📄 p 6、62)

「自分にはよいところがある」と考えている児童生徒の割合が増えている。

- ・「◇^{6/6} 自分にはよいところがある」と肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校は 70.9%、中学校は 72.1%である。
(📄 p 26、59)

学校の授業以外の勉強時間が減少している。

- ・「◇^{41/40} 普段、1日当たり1時間以上勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小学校が 53.5%、中学校が 58.9%である。
(📄 p 25、65)

一人一台端末の持ち帰り利用が進んでいる。

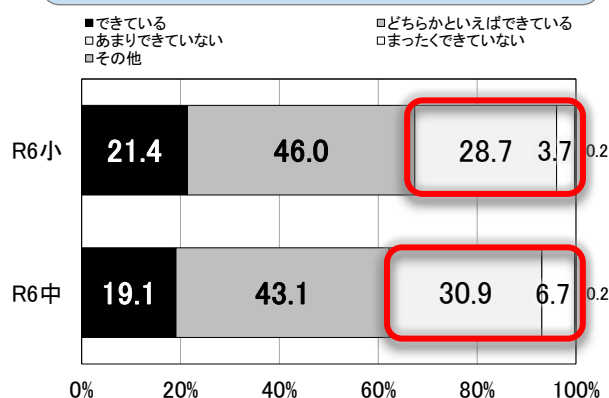
- ・「◆³⁴ PC・タブレットなどの端末を、毎日、もしくは時々、家庭で利用できるようにしている」と回答した学校の割合は、小学校が 74.0%、中学校が 60.0%である。
(📄 p 25、82)

自分ごとの学びを支える

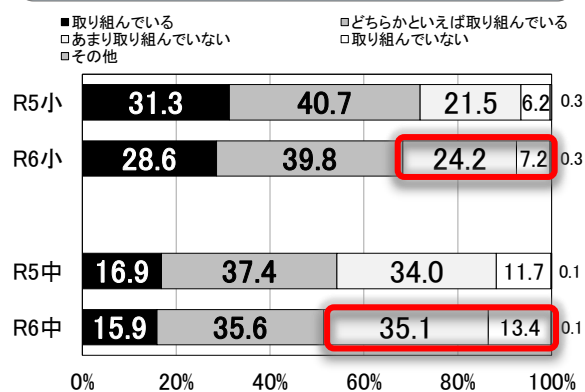
児童生徒主体の学びの実現に課題

「課題解決に向けて自分から取り組んでいない」、「自分の目標をもって取り組んでいない」と否定的に回答している児童生徒がいることが分かります。

◇25/23 授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができていますか。
【児童生徒質問紙】

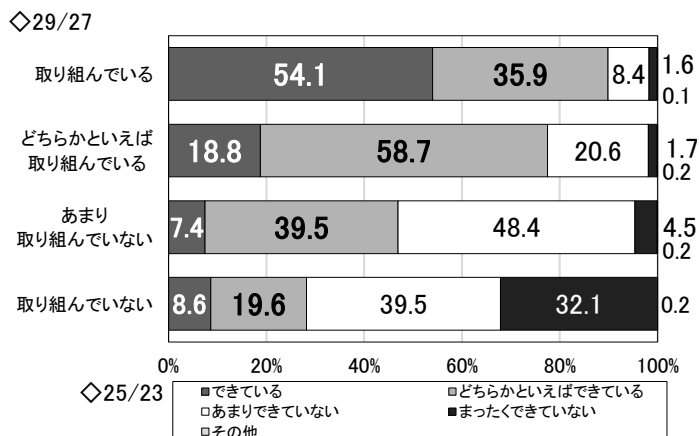


◇29/27 授業に、自分の目標（めあて・ねらい）をもって取り組んでいますか。
【児童生徒質問紙】



自分の目標をもつことで自分ごとの学びへ

「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と
「◇25/23 授業では、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組むことができています」の
クロス集計（R6中）



「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と肯定的に回答した生徒ほど、「◇25/23 課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる」と回答していることが分かります。

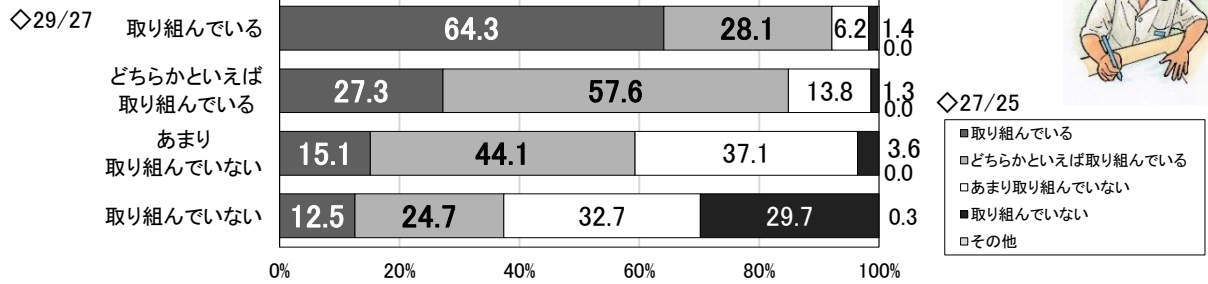
自分の目標をもつことと、児童生徒主体の学びは、関係があると考えられます。



自ら学習を調整しながら粘り強く取り組む

「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と

「◇27/25 見方・考え方を変えながら取り組んでいる」のクロス集計（R6中）



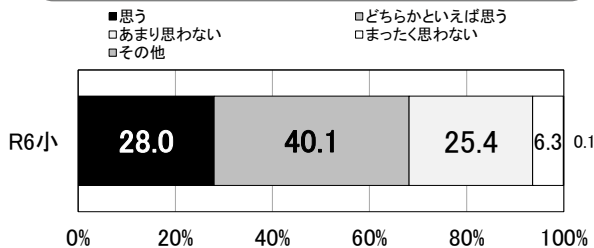
「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と肯定的に回答した生徒ほど、「◇27/25 見方や考え方を変えながら、あきらめずに取り組んでいる」と回答していることが分かります。

教師は、試行錯誤できるように考えが変化する余地を残したり、学びに関わる選択肢を準備したりする等、児童生徒が自ら学習を調整しながら粘り強く学習に取り組めるようにすることが必要です。

次の学習につなげるための振り返り

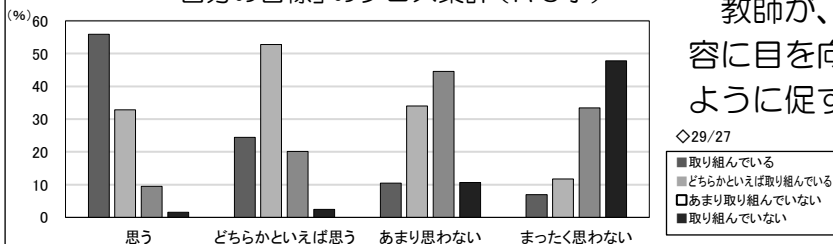
◇31/29 学習した内容について分かった点やよく分からなかった点等を見直し、次の学習につなげるための振り返る活動を行っていると思いますか。

【児童生徒質問紙】



「◇31/29 振り返る活動」と

「◇29/27 自分の目標」のクロス集計（R6小）



「◇31/29 次の学習につなげるための振り返る活動を行っていると思う」と回答した児童ほど、「◇29/27 自分の目標をもって取り組んでいる」と回答していることが分かります。

自分の学習の過程を振り返り、次の学習につながるかどうかを考えると、問題解決の際の解決方法の見通しをもち、自分の目標をもって取り組むことにつながるのではないのでしょうか。

教師が、学習過程や授業前後の考えの変容に目を向けさせ、次の学習の目標をもつように促すことが必要だと考えられます。

「児童生徒主体の学び」のためのチェックポイント

- ☐ 児童生徒の発言や考えを生かして課題を設定している
- ☐ 児童生徒が必要な時に目的をもって話し合えるようにしている
- ☐ 児童生徒が、課題解決に向けて、ICT 機器を使いたいときに使える環境にしている
- ☒ 児童生徒が自ら振り返る活動を取り入れている
- ☒ 児童生徒が選択したり、自己決定したりする場面を設定している

令和 5 年度香川県学習状況調査報告書より